

# 生殖医療とジェンダー：人工妊娠中絶後における女性のスピリチュアルケアを事例として

著者	日比野 由利
著者別表示	Hibino Yuri
雑誌名	平成18(2006)年度 科学研究費補助金 若手研究(B) 研究概要
巻	2004 2006
ページ	2p.
発行年	2016-04-21
URL	<a href="http://doi.org/10.24517/00061047">http://doi.org/10.24517/00061047</a>



# 生殖医療とジェンダー;人工妊娠中絶後における女性のスピリチュアルケアを事例として

Research Project

All

## Project/Area Number

16710184

## Research Category

Grant-in-Aid for Young Scientists (B)

## Allocation Type

Single-year Grants

## Research Field

Gender

## Research Institution

Kanazawa University

## Principal Investigator

日比野 由利 金沢大学, 医学系研究科, 助手 (40362008)

## Project Period (FY)

2004 - 2006

## Project Status

Completed (Fiscal Year 2006)

## Budget Amount \*help

**¥1,300,000 (Direct Cost: ¥1,300,000)**

Fiscal Year 2006: ¥300,000 (Direct Cost: ¥300,000)

Fiscal Year 2005: ¥500,000 (Direct Cost: ¥500,000)

Fiscal Year 2004: ¥500,000 (Direct Cost: ¥500,000)

## Keywords

スピリチュアル・ウェル・ビーイング / 身体経験 / リプロダクティブ・ヘルス / 人工妊娠中絶 / スピリチュアリティ / スピリチュアルケア / 母性 / 胎児観 / 生殖医療 / 水子供養 / 女性のケア / ジェンダー / 女性の健康 / インターネット

## Research Abstract

中絶を経験した女性のスピリチュアル・ウェル・ビーイングを測るために、26項目から成る質問項目群を作成した。海外では、80年代から、スピリチュアル・ウェル・ビーイングに関連する尺度の開発が行われてきたが、中絶経験を始とした女性の身体性を考慮したものではなかった。

作成した質問項目群を含む質問紙を、石川・山口・東京の産婦人科医院や保健所を通しておよそ30代までの生殖可能年齢にある女性に配布を依頼した。280票配布し、177票を回収した(63.2%)。1対象者の平均年齢(±SD)は30.29±60.5歳であり、レンジは15-43歳であった。177人のうち、中絶を過去に一度以上、経験した女性は、60人(33.9%)であった。また、過去に一度も妊娠経験がない女性54人(30.5%)および、出産を経験し、過去に中絶や流産の経験がない女性85人(48.0%)という比較対照カテゴリーを作成し、関連性を検討した。

26項目の質問項目を探索的因子分析にかけた結果、プロマックス回転で5因子を抽出し、56.61%の分散を説明できた。各因子を「スピリチュアル・ペイン」(7項目、 $\alpha=0.838$ )、「生と死の連続性・女性性」(4項目、 $\alpha=0.781$ )、「内的自己統制」(6項目、 $\alpha=0.760$ )、「自己コントロールの喪失」(5項目、 $\alpha=0.694$ )、「世界内自己」(4項目、 $\alpha=0.647$ )と名づけた。過去の生殖との関わりでは、「スピリチュアル・ペイン」の因子得点が高いのは中絶経験者であり、「生と死の連続性・女性性」が高いのは出産経験者であり、「内的自己統制」が高いのは出産経験者であり、「自己コントロールの喪失」が高いのは中絶経験者であり、「世界内自己」が高いのは出産経験者であった。以上から、中絶経験者は、出産経験者や妊娠経験がない女性と比較して、本研究が作成した質問項目群のスピリチュアル・ウェル・ビーイングが低いことが推測された。

## Report (3 results)

2006 Annual Research Report

2005 Annual Research Report

2004 Annual Research Report

## Research Products (8 results)

All	2007	2006	2005
All	Journal Article		

[Journal Article] 中絶の語りからみた女性の自己変容とケアの可能性

2007 ▾

[Journal Article] 人工妊娠中絶に対する態度と中絶経験-リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から-

2006 ▾

[Journal Article] Sexual Harassment of Female Nurses by Patients in Japan.

2006 ▾

[Journal Article] Evaluation of Urinary-8Hydroxydeoxyguanine (8-OHdG) in Healthy Japanese People.

2006 ▾

[Journal Article] 中絶を経験した女性のスピリチュアリティ

2005 ▾

[Journal Article] 看護師に対するセクシュアル・ハラスメント

2005 ▾

[Journal Article] Abortion and rituals for aborted fetus in Japan

2005 ▾

[Journal Article] 中絶を経験した女性のスピリチュアリティ

2005 ▾

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-16710184/>

Published: 2004-03-31 Modified: 2016-04-21